

# 都市再生整備計画事業 事後評価シート

相生地区都市再生整備計画

平成 年 月

兵庫県 相生市

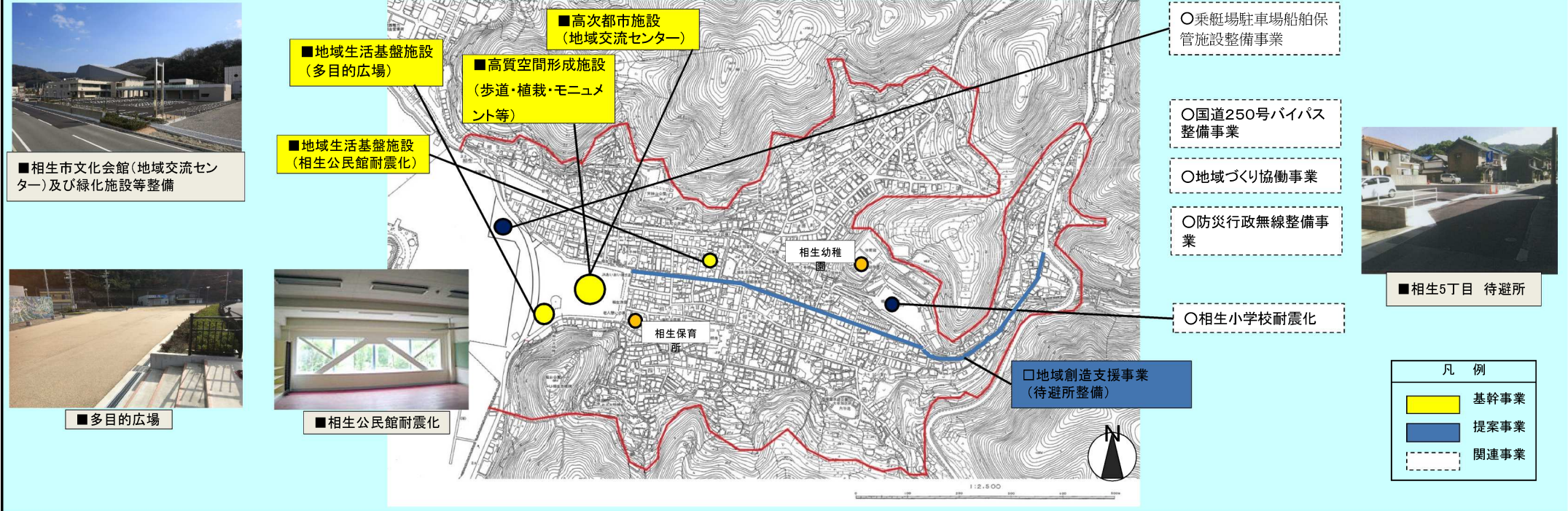
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県	市町村名	相生市		地区名	相生地区都市再生整備計画			面積	56.7 ha		
交付期間	平成25年度～平成29年度	事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	2,045百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(多目的広場整備事業、相生公民館耐震化事業) 高質空間形成施設(緑化施設等整備事業) 高次都市施設(地域交流センター整備事業)									
		提案事業	地域創造支援事業(道路待避所・街角せん除の整備)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	無し		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	無し									
	新たに追加した事業	基幹事業	無し									
		提案事業	無し									
交付期間の変更	当初	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
	変更	-										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			
	指標1	交流センター稼働率	%	49	H23	55	H29	59.4	○	あり なし	市民をはじめ多くの方々に使用してもらうことで、ふれあいと交流の場、文化芸術活動の推進の場としての役割を十分に果たしている。	-
	指標2	交流センター満足度	%	36	H24	43	H29	43.8	○	あり なし	交流センターの建設と合わせて、多目的広場や緑化施設等周辺施設も併せて整備したことで、利用者の満足度が向上している。	-
	指標3	緊急車両到着時間	分	7.0	H24	6.6	H29	6.58	○	あり なし	相生地区内の狭小な道路環境の改善を行うことで、緊急車両の円滑な通行が可能となり、地区住民の安全安心の確保につながっている。	-
指標4	地区内耐震化率	%	50	H24	75	H29	75.0	○	あり なし	相生公民館の耐震化などにより、着実に耐震化率の向上が図れた。避難所に指定されている公共施設を耐震化を行うことで、地区住民の安全の確保につながっている。	-	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み			
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況												
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	無し	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	無し	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
持続的なまちづくり体制の構築	住民参加による持続的なまちづくり活動		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●					

## 様式2-2 地区の概要

相生地区（兵庫県相生市）都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	年度	目標値	年度	従前値	年度
大目標 相生の誇りである相生湾臨海部の賑わい創出と相生地区の再生 目標1 既存の魅力ある交流拠点と連携した賑わいのあるまちづくり 目標2 旧市街地の再生を支える、防災環境の整備による安心・安全な住みやすいまちづくり	交流センター稼働率	単位：%	49%	H23	55%	H29	59.4%	H29
	交流センター満足度	単位：%	36%	H24	43%	H29	43.8%	H29
	緊急車両到着時間	単位：分	7.0分	H24	6.6分	H29	6.58分	H29
	地区内耐震化率	単位：%	50%	H24	75%	H29	75.0%	H29



まちの課題の変化

◎交流センターが新たな交流拠点となり、地区外からの利用者も多くあり地域の活性化につながっている。  
◎相生地区の賑わい創出を図る核となる施設として、既存の交流拠点と連携した賑わいのあるまちづくりの推進を図れている。  
◎相生公民館の耐震化などにより、着実に耐震化率の向上が図れた。避難所に指定されている公共施設を耐震化を行うことで、地区住民の安全の確保につながっている。

今後のまちづくりの方策（改善策を含む）

今後も当該地区の賑わい創出の核となる施設として、既存の交流拠点と連携した賑わいのあるまちづくりの推進していく必要がある。